

製品名: ABHD7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06442**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	EPHX4
別名	EPHX4; ABHD7; EPHXRP; Epoxide hydrolase 4; Abhydrolase domain-containing protein 7; Epoxide hydrolase-related protein
遺伝子 ID	253152.0
SwissProt ID	Q8IU55
免疫原	抗血清はヒト ABHD7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

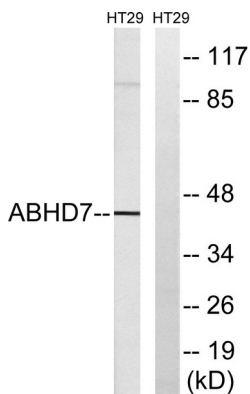
背景

α/β 加水分解酵素スーパーファミリーは、重要な生化学プロセスに関与し、様々な疾患に関連する多様なメンバーで構成されています。

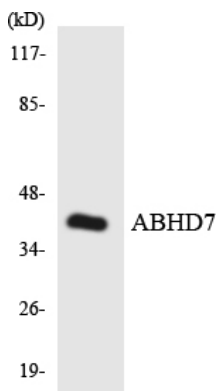
す。これらのスーパーファミリーは、互いに関連性のない配列、多様な基質、そして異なる種類の触媒活性を持ちますが、8本鎖の平行 α/β 構造からなる標準的な α/β 加水分解酵素フォールドを共有しています。また、ヒスチジン、酸、求核剤からなる触媒三元構造も特徴としています。このスーパーファミリーのメンバーは、糖尿病、アルツハイマー病、肥満、血液凝固障害などの疾患の治療における薬剤標的となることがよくあります。Ab加水分解酵素ドメイン含有 (ABHD) 遺伝子サブファミリーは、主に未解析の15のメンバーで構成されており、そのほとんどはセリン求核剤を利用してG-X-S-X-G求核剤エルポーを形成します。ABHD7は、AB加水分解酵素スーパーファミリーおよびエポキシド加水分解酵素ファミリーに属する、362アミノ酸からなる単回通過型II型膜タンパク質です。

研究分野

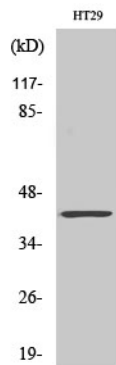
画像データ



HT-29細胞ライセートのABHD7抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ABHD7抗体を使用したHeLa細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ABHD7 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。